

やまが Yamaga City council News 市議会だより

第37号

11月臨時会
12月定例会

令和5年2月1日
発行／山鹿市議会



山鹿中学校太鼓部 太鼓祭2022第14回日本一決定戦 (さいたま市文化センター)

12月11日(日)、太鼓の日本一を 決める大会で全国第5位に！！

太鼓部の目標である「太鼓の演奏を通じて、歴史と伝統の地である山鹿の素晴らしさを伝えていく」、まさに多くの方々に山鹿の魅力発信と感動を与えてくれました。

《もくじ》

議会報告会	2
先進地の取り組み(行政視察)	3
常任委員会審査と報告	4
質疑・一般質問	5～10
審議結果・賛否表・討論	11
議会の主な動き他	12

令和4年度 議会報告会

～開かれた議会を
めざして～

山鹿市議会では、市民の皆さんへ議会の活動状況を報告し、ご意見やご提言などを直接伺うため、議会報告会を開催しました。

会場	開催日	参加者数
山鹿	9月17日(土)	31人
鹿本	9月17日(土)	36人
鹿央	11月14日(月)	26人
菊鹿	11月15日(火)	14人
鹿北	11月16日(水)	29人
合計		136人



鹿央会場

鹿央市民センター

- 農地、宅地、工業用地を戦略的に配置してほしい。
- 若者や子どものお話を聴く場を！

- 鳥獣対策の充実
- 婚活支援で若い人たちに出会いの場を！



菊鹿会場

菊鹿公民館

- 地元で働ける場所と人材育成
- 交通弱者への対策(あいのりタクシー等)



鹿北会場

鹿北市民センター

議会報告会に参加して

山鹿、鹿央、菊鹿、鹿北の議会報告会に参加した。議員を囲んでのディスカッションでは多様な意見が出され、それぞれのテーブルで活発な意見交換が行われた。山鹿市の将来を思う意見を出席議員団は真摯に受けとめ、今後に活かしていきたいと議長はまとめられた。普段、議員と接点の少ない市民にとってよい機会であり、若い世代が参加する機会をつくっていただきたい。「議員と語ろう」今後も回数を重ねていきたい。

山鹿市 69歳 男性 医療関係

先進地の取り組み

行政視察

建設経済常任委員会行政視察報告

期間 令和4年10月19日～21日

視察先

- ① 群馬県渋川市
- ② 群馬県伊勢崎市
- ③ 埼玉県川越市

① 群馬県渋川市「観光周遊ルート活用促進事業」

市内の観光資源の周遊性や二次交通の利用促進に取り組みられている。渋川市が作品の舞台となった場所を訪れるアニメツアーリズムの推進にも取り組み、市内に点在する多様な観光資源の周遊性を高め、観光誘客の促進、観光行動のリピート化を目指している。

② 群馬県伊勢崎市「Made in いせやき事業」

製造品や出荷額が関東内で上位を誇る工業都市である。認証された製品に対し「Made in いせやき」の統一したロゴマークを入れることで、伊勢崎市を広くPRすることを目的として本事業を実施されている。市内企業の製品展示、商談会、企業間取引のマッチングなども開催。中小企業を含め、産業界の活性化につなげている。

③ 埼玉県川越市「第2次川越市観光振興計画」

歴史的な風情のある蔵造りの町並みが残っており、都心からのアクセスもよく、年間を通して多くの観光客が訪れる。令和4年に第2次観光振興計画を策定。観光時間が日中の短時間、ICTの活用不足、交通の安全性不足、ごみ環境問題などが生じていることが重点課題としている。

歴史的建造物、文化財、温泉など魅力あるコンテンツがたくさんある本市において、それぞれの良さを生かし、これらを周遊するルートを結び工夫などにより、本市の産業がさらに活性化することを提案していきたい。



川越市の「蔵造りの町並み」

総務文教常任委員会行政視察報告

期間 令和4年11月7日～9日

視察先

- ① 茨城県神栖市
- ② 茨城県境町
- ③ 宮城県石巻市

① 神栖市「かみす防災アリーナ」

地域の防災拠点と位置づけ、災害時の避難所機能及び屋内に救援・救護スペースなど防災機能を持つ多目的施設として整備され、平時にはスポーツなど市民の健康づくり、各種イベントの開催に賑わいを創出する施設であった。

② 境町「ふるさと納税について」

令和3年度のふるさと納税額は48億円を超えている。事業は(株)かいまちづくり公社が担っており、官民連携で観光、まちづくりなどの事業も取り組み、納税収入を活用し自動運転バスの導入、児童生徒への質の高い英語教育、移住定住促進住宅等の人口減少対策につなげている。

③ 石巻市「石巻市南浜津波復興記念公園」及び「震災遺構門脇小学校」

南浜地区は、地震津波、火災、地盤沈下と被害を受けた場所です。生存者からの聞き取りにより、地震から津波到達までの行動履歴がわかり、命を守る行動の意識づけが大切だと説明があった。

門脇小学校は、校内にいた児童は、日頃の避難訓練により全員無事だった。防災訓練が命を救った教訓であり、防災教育、ハザードマップ、自主防災組織などの必要性を再認識した。



ふるさと納税を活用した自動運転バス（右）

常任委員会審査と報告

※委員会の審査報告は、本会議での委員長報告に基づいて、
広報広聴委員会で作成したものを掲載しています。

◎委員長
◎副委員長

建設経済常任委員会

12/13
開催

◎富丸洋一郎 ○有働 辰喜 松見 真一
高橋 龍一 原 芳郎 深牧 大助

◆付託案件 議案8件…可決
◆主な審査内容
公の施設の指定管理者の指定について
山鹿灯籠民芸館・山鹿市矢谷溪谷キャンプ場（キャン
プ場及びテント村）・山鹿市岳間溪谷キャンプ場・山
鹿市さくら湯

問 指定するにあたって募集はしたのか

答 8月下旬から9月上旬にかけて募集を行った。

問 指定管理期間が概ね5年である中、矢谷溪谷キャン
プ場だけが3年である理由は

答 指定管理の制度上3年間を基本としているが、施
設の性格等から同一の管理者が望ましい施設につい
ては5年間を上限とすることが可能である。

その上で、現在、矢谷溪谷一帯を魅力ある施設に
再生するための基
本構想を策定中で
あることなどから、
今回は3年間とし
た。

現地調査

○津留配水池

施設整備事業

○農村地域防災減災事
業（分田堰）



分田堰

市民福祉常任委員会

12/14
開催

◎小川 榮二 ○立山大二朗 北原 昭三
隈部 賢治 永田 壮弘 関口 和良

◆付託案件 議案7件…可決
◆主な審査内容
山鹿市条例の一部を改正する条例について

問 公益のために専用する固定資産の課税免除の根拠
法令は

答 地方税法の第6条第1項「地方団体は公益上その
他の事由により課税を不相当とする場合においては
課税をしないことができる。」と規定されており、
今回その範囲について明確に定める。

介護認定について

問 介護認定にかかる期間はどのくらいか

答 申請から概ね1か月で結果を通知している。

山鹿市薄尾斎場の指定管理者の指定について

問 指定管理者の公募選定までの経緯は

答 応募は現在の指定業者と和木町にある会社の2社。
安定的運営が可能な財政的基盤と指定管理者として
の実績の選定項目に大きな差が見られた。

山鹿市鹿本ふれあいセンターの指定管理者の指定について

問 指定期間が2年の理由は

答 福祉部所管の他の指定管理施設においては令和7
年3月31日までが指定期間満了日となっており、そ
の後の施設の取り扱いについて全体的に検討してい
く予定としており、時期を合わせるため。

総務文教常任委員会

12/15
開催

◎勢田 昭一 ○永田 紘二 芋生よしや
金光 一誠 古川 和博 山下 誠治
豊田新一郎

◆付託案件 議案11件…可決
◆主な審査内容
内部組織の改編について

問 経済部を農林部・商工観光部に改めるのはなぜか

答 本市は農業が中心でありながらも、温泉観光地と
しての魅力があり、今後の山鹿市の将来を見据え
て、経済部を2部に再編し、それぞれの特色を生か
しながら施策を進めていくことを目的とした。

債務負担行為（※）について

問 特別支援教室整備事業（のだけ小学校）の債務負
担行為の経緯は

答 7月に行われた特別支援教室の増築工事の入札が
不落となったことから、建設資材の物価高騰を精査
し増額することに加え、適切な工期を確保するた
め、令和4年度から令和5年度までの2カ年に事業
期間を変更するた
め、債務負担行為
を新たに設定する
もの。

現地調査

○旧山内小学校
（議案第82号関連）

※契約などにより、次
年度以降においても
支出が予定されてい
るもの



旧山内小学校



ふるかわ かずひろ
古川 和博 議員
(清風やまが)

里山農業支援について

- 質問** ①山鹿和栗商品開発状況及びブランド化への取り組みは
②タケノコブランド対策・加工品の開発状況は
③侵入竹林及びタケノコ圃地整備は
④イノシシ等電柵支援拡充は

答弁 経済部長

①現在、山鹿和栗をベースにしたスイーツ等の試作品を民間事業者と連携し開発に取り組んでいる。また、知名度向上対策としてメディア周知に向けたレシピ及び専用パンフレットの作成に取り組む。今後、県・J・A・生産者・菓子店等を含めた組織を立ち上げ、地域内で加工流通する仕組みを構築していく。
②本市のタケノコ生産量は1,088t、県全体の4割弱を占める有数の産地であり、令和5年7月を目途に新商品「たけのご飯の素」「メンマ」などを物産館で販売予定、さらなる商品開発を行い地域ブランドとして確立を目指す。和水町との協定を基に農林業の課題

解決に向けた取り組みも進める。

③事業により荒廃竹林等の整備活動を支援する中、組織数も昨年の3団体から令和5年には14団体が計画。今後も行政協力員会議を通じ周知していく。タケノコのブランド化を図るためにも生産環境体制が継続できる有効な対策を講じていく。

④高齢化等に起因し、イノシシ等の防護柵設置及び管理に労力不足が懸念される。防護柵の設置費用や耐用年数経過後の撤去等の問題と併せ電気柵の支援拡充も必要と思われ、地域実情等を踏まえ効果的な被害防止対策を検討する。

地域防犯対策並びに高齢者対策について

- 質問** 市民の安全・安心を守る防犯カメラ設置への助成は

答弁 総務部長

県下の設置助成の状況は、玉名市を含む4市が補助金要綱を定め、いずれも限度額10万円の補助である。犯罪の予防、児童や高齢者の見守りなど多様な目的に効果があるが、設置には地域住民の合意形成が不可欠であり、助成は山鹿警察署及び防犯協会の意見を伺い、今後、慎重に検討していく。



やました せいじ
山下 誠治 議員

第4次山鹿市読書活動推進計画について

- 質問** 策定の推進状況は

答弁 教育部長

第3次計画を基本とし、令和5年度から令和9年度までの5年間にわたる第4次山鹿市読書活動推進計画を策定中。新たな取り組みとして、公立図書館と学校図書館の連携、あわせて、電子図書導入についても盛り込むこととしている。



ふるさと納税について

- 質問** 担当部署は、先進地視察を行い今後の事業の参考にしては

答弁 副市長

さらなる寄附額増加を図るために、先進自治体の取り組みについて調査研究を進めていく。

姉妹都市・友好都市について

- 質問** 現在、人的・物的交流のある沖縄県宮古島市と姉妹都市または友好都市締結の考えはあるか

答弁 副市長

教育、経済分野をはじめ、両市のそれぞれの長所を持ち寄りしっかりと友好関係を築いていくことを両市長間で確認済み。今後、両者間で協議の上判断していく。



宮古島市

学童クラブについて

質問 旧教育会館の耐震強度不足を受け校内に緊急移動した山鹿小学校学童2クラブは、児童の健全な育成を図る保育事業の基準を満たす場所と指導員事務所や倉庫機能を、早急に確保すべきでは

答弁 教育部長

設備及び運営に関する基準に対しても、児童が安心安全に生活できる場となるよう学校やクラブ運営団体との協議検討を進めていく。

介護タクシーについて

質問 介護タクシーで病院診察、薬局で薬の受け取りまで一回の利用で可能か。市外の利用範囲はどこまでか

答弁 福祉部長

令和3年度の制度改正で、ケアプランに「通院等乗降介助」が必要とあれば、病院から薬局での薬の受け取りまでの利用が一回で可能となった。市外は熊本市北区の一部や和木町まで運行エリアとしている事業所もある。利用についてはケアマネージャーと十分相談してほしい。

地域活性化の特色と施策について

質問 地域の祭りを今後どのようにするのか。特に賑わいが戻るような支援対策を講じるのか

答弁 市民部長

合併前の各町の祭りを引き継ぐ形で行われてきた地域の祭りであるが、その伝統を継承しながらも、地域住民がみずから創りあげる祭りへと形を変えながら年ごとに開催されてきた。ところが新型コロナウイルスの感染症拡大は、地域の祭りにも大きな影響を与えた。

本年は、それぞれの実行委員会で地域の特色を生かした上で、対策などを講じ、開催することができた。今後とも、地域の賑わいが創出され、元気で活力ある地域づくりへの取り組みについて支援に努める。



2020年10月きくか棚田ランタン祭り

いもう
芋生 よしや 議員

(日本共産党)



ジェンダー平等について

質問 近隣でもパートナーシップ制度・ファミリーシップ制度導入が進んでいる。市は導入検討をしているか

答弁 総務部長

導入前に正しい知識や理解をしてもらうことが最重要と考え、職員研修や「人権のまちづくり地域講演会」などでの啓発を進めている。

質問 導入することによって、市民の意識も高まり認識も深まり、「すべての人の人権を尊重するまち」と宣言することになるのではないか

答弁 副市長

理解が進まないままでは、新たな差別をも生みかかない。まず LGBTQ+を自認する方々、そのご家族が社会で生きやすい環境を用意することに務める。

せいだ しょういち
勢田 昭一 議員



学校教育(楽しく学ぶ・働く)の充実について

質問 「学校弁護士」導入の展望は

答弁 教育部長

「学校弁護士」いわゆる「スクールロイヤー制度」については、学校現場で、いじめ、不登校、体罰、教職員と保護者のトラブルなどさまざまな問題が発生しているため導入されている。現在、本市においてはこうした深刻な状況には至らず、「スクールロイヤー制度」の導入の必要性は考えていない。

しかしながら、もしも学校内でのトラブル等により、専門的な相談が必要になった場合、本市においては、行政相談のための顧問弁護士契約をしているので、その相談をもとに、早期解決に向けての対応に努める。

※上記のほか、社会教育環境（文化財、施設の観覧利用・文化課の再設置）充実について質問



きたはら しろうぞう
北原 昭三 議員
(公明党)

安全で快適なトイレ等の整備について

質問 バリアフリートイレと温水洗浄便座付きトイレの整備推進は怎么样了か

答弁 教育部長

障がいのある児童生徒が使用するトイレについては、山鹿、鹿北、菊鹿、めのだけ及び鹿本の5小学校で、学校統合による校舎整備時に設置している。その他の小中学校は、支援が必要な児童生徒が入学する際に、整備を行っている。温水洗浄便座付きトイレについては、山鹿、鹿北、菊鹿、めのだけ及び鹿本の5小学校において温水洗浄便座は未設置となっている。5小学校については、全体計画の中で必要に応じ、順次、整備をしていければと考える。

質問 避難所のトイレ整備は

答弁 総務部長

小学校体育館など、その他の指定避難所のトイレについては、有効な財源の活用を基本に関係部署と協議、調整を行いながらバリアフリートイレや温水洗浄便座付きトイレへの改修の必要性を検討したい。

高齢者支援対策について

質問 自動車運転免許証自主返納に対する特典はどのようになっているか。また、今後の取り組みは

答弁 総務部長

現在、自主返納に対する特典はない。他自治体の取組例を参考にしながら、本市の実情に適した内容と開始時期について検討を進める。

質問 認知症の早期把握及び予防について、菊池市は本年度から3カ年計画で、市内の自動車学校と連携し、免許更新時に認知機能検査を受けた75歳以上の高齢者を認知予防教室につなげる事業を始めた。山鹿市もこのような事業に取り組んだらと思うが見解は



答弁 福祉部長

本市にも菊池市が委託している業者より事業提案をいただいたが、多額の費用を要するため、今後、先行している自治体などと情報交換を図り、事業の効果について検証する。

※上記のほか、「LGBT」、「安心、安全なまちづくり」について質問



たかはし りゅういち
高橋 龍一 議員
(清風やまが)

人口増加の方策について

質問 ①TSMC進出発表後の誘致企業数と従業員数は
②山鹿市企業誘致等アドバイザーへの業務委託の目的、委託内容、期待する成果は

答弁 ①②経済部長

本市と立地協定を締結した企業は2社。工場操業開始時点での従業員数の計画は、それぞれ300名と30名程度。また、業務委託については、今後想定される半導体産業を中心とした関連企業等の進出に迅速に対応するため、工業団地の整備と宅地開発の両面から戦略的な土地利用を図るための検討資料として土地台帳の整備と企業動向の調査を行う。

質問 Uターン学生、社会人へのアプローチとして熊本UIJターン就職支援センターとの連携や市庁舎内での受入窓口の設置は

答弁 経済部長

県の鹿本総合庁舎内に「やまが職業総合相談センター」を設置し、就職を希望する学生から高齢者まで、

状況に応じた職業紹介、就職相談、面接相談など、幅広い就労支援を行っている。今後はUIJターン希望者向け就職説明会を活用するなど、連携して人材確保に取り組む。

損害賠償請求に係る本市の対応について

質問 林道事故に係る訴訟について、和解ではなく判決を求めるべきではなかったか。また、今後、災害現場の保全をどうするのか

答弁 経済部長

当初、本市側に管理瑕疵はないと判断し判決を求めつもりであったが、弁護士と協議する中で裁判所からの和解案を受け入れることとした。今後の災害現場の保全については、費用面も考慮し対応する。基本的には従来どおりの措置とするが、定期的なパトロール等で事故防止に努める。

やまがメイトの改修について

質問 毎日、配信される情報が多く、大切な情報が埋もれてしまっている。利用者それぞれで希望するカテゴリーを取捨選択できるような機能を追加できないか

答弁 総務部長

さまざまなご意見をいただいております、ご指摘の件も含めて今後も機能改修に努める。

学校施設(めのだけ小学校屋内運動場)について

質問 9月定例会で、平成27年度の耐力度調査で問題がなかったので既存施設を利用したとの答弁。しかし平成26年度に改修で設計業務委託を発注。整合性が取れないが

答弁 教育部長

市職員の有資格者による耐力度簡易調査で基準を満たすとの結果をもって、設計業務委託を発注、その後確認のため、耐力度調査業務を委託。基準を満たす判定結果を得て改修整備とした。

質問 旧米田小と同様に、地域住民や市議会に旧来民小の既存施設利用で説明、当然強度が基準を満たしていることを確認済みと思うが、その根拠は旧米田小と同じ職員による耐力度簡易調査の結果だったのか

答弁 教育部長

同一職員による同じ簡易調査を実施、結果は旧米田小と同様に校舎、屋内運動場ともに基準を上回る判定結果であったが、その後の業者による調査で既存校舎の一部を除き基準を満たしていないとの判定結果を得て建てかえた。

うどう たつき
有働 辰喜 議員



マイナンバーカードについて

質問 山鹿市内のマイナ保険証対応医療機関及び調剤薬局数と現行保険証廃止に伴うカード未取得者への対応は

答弁 福祉部長

11月20日現在で、全医療機関の33.9%にあたる21カ所、調剤薬局は68.8%にあたる11カ所が対応している。カード未取得者への対応については、国は令和6年秋に保険証の廃止を目指すことを発表したが、マイナンバーカードがない方も保険診療が受けられる制度が必要との考えも示していることから、今後具体的な仕組みが国から示されると考える。

持続可能な魅力ある地域づくりについて

- 質問** ①若者の地元定着のため、雇用の場を創出するベンチャー育成や誘致等は
②就農希望者へのマッチングや経営安定化のための指導などは
③宅地供給のため、市街地の空き家等の寄附受入れの検討は
④若者が希望を抱いて定着する山鹿創生は

答弁 ①総務部長 ②経済部長 ③市民部長
④副市長

①総合戦略課において、「働き方×移住促進プロジェクト」では「首都圏IT企業等現地訪問ツアー」を実施し、新たな働き方に対応した雇用の確保・創出に取り組んでいる。また、若者のチャレンジを後押しするための複合的な支援機能と、コワーキングスペース等の交流機能をあわせ持った「イノベーション拠点」の整備を目指す。

②新規就農者に対して、経営開始資金の3年間交付、機械導入等の支援、山鹿市担い手育成総合支援協議会による指導農家へのあっせんや巡回指導などを実施。今後は空き農地や施設などの掘り起こしと就農希望者とのマッチングにも取り組み、経営や販路拡大、プラ

たてやま だいじろう
立山 大二郎 議員



ンディングなどに精通したアドバイザーによる研修、高収益な農業者の取り組み等の情報を提供していくなどの指導体制も強化したい。

③寄附受入れは行わないが、中古住宅や宅地について、需要と供給のマッチングを円滑に進められるシステムづくりも研究課題と考えている。

④市内の中高生を対象とした「山鹿創生塾」において、各界で活躍する第一人者による講演会等を通して人材を育成。また、熊本大学との共催で、地域課題をビジネスで解決する人材の育成等を目指す「未来創造塾」の本市開催に向けた協議を進めている。さらに、eスポーツによる地域活性化やプログラミング学習の充実、くまモンと豊前街道のコラボ、山鹿市公式YouTubeチャンネルによる地域の魅力発信など、若者をターゲットとした施策を重点的に推進。



おがわ えいじ
小川 榮二 議員

学校再編後の山鹿市の学校教育をどのように進めていくのか、堀田教育長の方針について

質問 山鹿の小中学生が学業・スポーツや地域のイベント行事など様々な分野に活躍しており、私たちに元気を与えている。教育長は「日本一の学園都市やまが」を提唱され、あいさつ運動の推進、ハンドボールの街づくり、小中学校一貫教育の導入や小規模特認校の設置等を図ってこられた。令和5年度で学校統合が終了するが、これからの子どもたちの教育について教育長の考え・思いは

答弁 教育長

私が教育長に就任以来、一貫して学校に言い続けているのは「本気で子どもと触れ合ってほしい」ということ。そして子どもと信頼関係を築くことで、問題・課題を解決できると思っている。そのために3本の柱を立てて取り組んできた。

第1の柱、先生たちが子どもと触れ合う時間を増やす（校務改革）

第2の柱、「子ども同士の学びあい」で「誰ひとり取り残さない」（授業改革）

第3の柱、小中学校の連携を強化し「いつでも・どこでも・誰にでも」あいさつ（中学校区の学園化）

学力は常に県の上位にあるなど大きな成果を取めているが、教育にゴールはない。教育は次から次へと新たな課題が出てくるが、逃げることなく真っ正面から向き合い、課題解決に全力で取り組む。



はら よしろう
原 芳郎 議員
(れいわ創造)

山鹿市の農業施策について

質問 農業者人口が減少し地域農業の衰退が懸念される中、農業後継者である専業農家への支援策についてどのように考えているのか

答弁 経済部長

地域農業を守り支え、発展させていくためには、専業農家の力が必要不可欠と考えている。国、県の支援策も含め、総合的な対策の検討を進める。

中学校部活動の地域移行について

質問 ①中学校部活動の地域移行については、本市の実情に合った体制づくりが求められると考えるが、令和5年度から、3年間における部活動改革が始まる中で、最大の課題である指導者の確保のほか、学校の公共施設を低額で使用できないか。事故発生時の責任の明確化。また、部費より高い会費になることが想定されるため経済的に困窮する家庭への支援が欠かせないと思う

が、山鹿市として、スポーツ・文化環境の整備・充実に向けてどのような方向性を考えているのか

②将来の山鹿市を担う児童生徒及び保護者の方々に向け、教育長の熱い思い、方針は

答弁 ①教育部長 ②教育長

①課題解決を図るため、方針1として「山鹿市の中学校における部活動の方針を見直す」、方針2に「学校単位の部活動を段階的に合同部活動に移行していく」、方針3として「休日の部活動の受け皿となる地域クラブ等の整備・充実を図る」をきっかけ、一つ一つ課題を解決しながら本市の実情に合った体制づくりを進める。
②部活動は「人づくり」の機会として大切にしてきた教育活動であり、未来の子どもたちのために守らなければならないと考える。そのために、持続可能な部活動への改革、部活動の一部が地域移行になったときの受け皿となる地域クラブなどが、部活動の価値・意義を引き継ぐものになるよう支援していく。

※上記のほか「幼児教育・保育の無償化についての計画」「空き家問題」「区役についての対策・対応」「ふるさと納税での寄附金額及び、寄附金税額控除」について質問

※農地利用計画について、令和6年から始まる計画をどのように考えているのか質問予定であったが、市長が不在だったので3月議会にて改めて質す。

ふるさと納税について

質問 ふるさと納税の今後の考え方は

答弁 総務部長

さらなる寄附額増加を図るため、令和5年6月末で委託期間が終了する、ポータルサイトの運営や返礼品の開発、配送業務等を手掛ける新たな中間事業者の選定準備を1月より進めていく。

新たな中間事業者は、これまでの実績のほか、寄附額増大に向けた魅力的な提案があるか、より地域に密着した活動ができるかなどの点を考慮のうえ、慎重に選定していく。

質問 ふるさと納税の寄附額増加を図るための事業体制は

答弁 副市長

組織体制も含め先進自治体の取り組みについて調査研究を進めながら、さらにチーム一丸となった体制のもと、寄附額増加を目指していく。

ながた こうじ
永田 紘二 議員



組織再編について

質問 今回の部組織再編については、施策の充実強化と現下の懸案事項への対処が目的であると理解しているが、課以下の組織についても当然に見直しがなされるものと考えてよいか

答弁 副市長

市の組織体制については、不断の見直しが必要であり、課以下の内部組織においても、そのあり方、事務分掌について、より効率的かつ効果的な組織体制の構築を旨とし、今後必要な改編を進めていく。

令和4年（第4回）11月臨時会における審議結果表

議案等番号	案 件	結 果
議案第62号	専決処分の承認を求めることについて（令和4年度山鹿市一般会計補正予算（第4号））	承認
議案第63号	令和4年度山鹿市一般会計補正予算（第5号）	可決

令和4年（第5回）12月定例会における審議結果表

議案等番号	案 件	結 果
議案第64号	山鹿市部設置条例の一部を改正する条例	可決
議案第65号	山鹿市個人情報保護法施行条例	可決
議案第66号	山鹿市議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例及び山鹿市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第67号	山鹿市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第68号	山鹿市職員の配偶者同行休業に関する条例	可決
議案第69号	山鹿市病院事業の一般職の任期付職員の採用に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第70号	山鹿市職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例	可決
議案第71号	山鹿市手数料条例の一部を改正する条例	可決
議案第72号	山鹿市税条例の一部を改正する条例	可決
議案第73号	山鹿市下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第74号	令和4年度山鹿市一般会計補正予算（第6号）	可決
議案第75号	令和4年度山鹿市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第76号	令和4年度山鹿市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第77号	令和4年度山鹿市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第78号	令和4年度山鹿市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第79号	令和4年度山鹿市水道事業会計補正予算（第1号）	可決
議案第80号	令和4年度山鹿市下水道事業会計補正予算（第1号）	可決
議案第81号	工事請負契約の締結について	可決
議案第82号	財産の処分について	可決

令和4年（第5回）12月定例会における審議結果表

議案等番号	案 件	結 果
議案第83号	公の施設の指定管理者の指定について（山鹿市薄尾斎場）	可 決
議案第84号	公の施設の指定管理者の指定について（山鹿市鹿本ふれあいセンター）	可 決
議案第85号	公の施設の指定管理者の指定について（山鹿灯笼民芸館）	可 決
議案第86号	公の施設の指定管理者の指定について（山鹿市矢谷溪谷キャンプ場(キャンプ場及びテント村)）	可 決
議案第87号	公の施設の指定管理者の指定について（山鹿市岳間溪谷キャンプ場）	可 決
議案第88号	公の施設の指定管理者の指定について（山鹿市さくら湯）	可 決
議案第89号	公の施設の指定管理者の指定について（八千代座等）	可 決
議案第90号	熊本県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の一部変更について	可 決
議案第91号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意
議案第92号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意
議案第93号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意
議案第94号	人権擁護委員の推薦について	同 意
議案第95号	人権擁護委員の推薦について	同 意
議案第96号	人権擁護委員の推薦について	撤回承認

下記以外の案件は全会一致で審議結果表のとおりとなりました。（議長は採決には加わりません）

賛 否 表

○は賛成 ●は反対 欠は欠席

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	18	19	20
議 員	関口 和良	永田 壮 拓	深牧 大助	原 芳 郎	隈部 賢治	高橋 龍一	豊田新二郎	山下 誠治	古川 和博	金光 一誠	松見 真一	立山大二郎	小川 榮二	芋生よしや	勢田 昭一	有働 辰喜	富丸洋一郎	北原 昭三	永田 紘一
議案第65号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	○	○	○	○
認定第66号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	○	○	○	○
認定第70号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	○	○	○	○
認定第74号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	○	○	○	○

反 対 討 論

14 番 芋生 よしや

■議案第65号

個人情報保護法への一元化によって、個人情報のプライバシー、住民生活への影響など個人情報保護の大幅な後退が懸念される。大事な条例の改正は、住民に内容を丁寧に説明し、意見を募集する必要があると考え反対

■議案第66号

議員及び山鹿市長等の期末手当の引き上げは、物価高騰などによって厳しい状況の市民の理解は得られないと考え反対

■議案第70号

定年年齢の引き上げ自体には反対ではないが、「定年前と同じ仕事をする定年再雇用者に賃金差別をするのは違法」という判決や賃金・待遇の改善を求める声が広がっている。定年延長になる職員の給与は7割となり、同一労働同一賃金に反する。また、新規採用や職員定数をどうするのかも示されておらず、組織運営方針がいまいであり反対

■議案第74号

議案第66号条例改正に伴う補正予算に対し反対

議会の主な動き

10月

- 3日(月) 市内最高齢者表敬訪問
- 4日(火) 広報広聴委員会
- 6日(木) 鹿北町戦没者追悼式
- 9日(日) 菊鹿中学校創立50周年記念式典
- 11日(火) 国道3号植木バイパス(1工区)早期実現期成会要望活動
広報広聴委員会
- 12日(水) 熊本県市議会議長会(～13日)
- 16日(日) 鹿本中学校創立50周年記念式典
山鹿市献穀事業 抜穂祭
- 17日(月) 広報広聴委員会
- 19日(水) 全国市議会議長会フォーラム(～20日)
建設経済常任委員会 行政視察(～21日)
- 22日(土) 第50回熊本県人権教育研究大会
- 23日(日) 鹿北茶山唄全国大会
第16回鞠智城シンポジウム
- 24日(月) 全員協議会
広報広聴委員会
熊本県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会・定例会
- 25日(火) 国道3号植木バイパス(1工区)早期実現期成会
要望活動(～26日)
- 27日(木) 百歳到達者表敬訪問(1名)
- 28日(金) 山鹿消防署東分署庁舎建設等工事安全祈願祭
議会運営委員会
- 30日(日) 芸術文化祭総合開会式
山鹿市献穀事業 奉告祭
鹿央ふるさと祭り

11月

- 1日(火) 一般国道443号 県道と仁山鹿線 玉名八女線
道路整備促進期成会 総会・要望会
- 2日(水) 11月臨時会
広報広聴委員会
- 3日(木) チブサン古墳・鍋田横穴群国指定100周年
記念シンポジウム
- 5日(土) 清浦奎吾伯墓前祭
- 7日(月) 総務文教常任委員会 行政視察(～9日)
- 9日(水) 全国市議会議長会 評議員会
- 12日(土) 熊本県PTA研究大会やまが大会
- 14日(月) 議会報告会(～16日)
- 19日(土) かほくまつり(～20日)
- 22日(火) 議会運営委員会
- 23日(水) さくら湯竣工150周年記念式典
- 25日(金) 百歳到達者表敬訪問(1名)
- 29日(火) 12月定例会開会・全員協議会

12月

- 1日(木) 民生委員・児童委員の退任式及び委任状交付式
- 7日(水) 12月定例会質疑・一般質問
- 8日(木) 12月定例会質疑・一般質問
- 9日(金) 予算決算常任委員会
広報広聴委員会
- 13日(火) 建設経済常任委員会
- 14日(水) 市民福祉常任委員会
- 15日(木) 総務文教常任委員会
- 19日(月) 予算決算常任委員会
広報広聴委員会
- 20日(火) 山鹿温泉復活感謝祭
- 21日(水) 議会運営委員会
- 22日(木) 12月定例会閉会・全員協議会
- 28日(水) 年末警戒巡視

行政
視察

ようこそ山鹿市へ

10月6日 北海道名寄市
一般廃棄物処理施設について

10月18日 北海道旭川市
歴史・文化・景観を生かしたまちづくりについて

11月1日 新潟県五泉市
空き家対策について

11月17日 鹿児島県指宿市
創業・開業支援空き店舗対策について

【人事案件】

※敬称略

〈固定資産評価審査委員会委員〉

市長から提出された「固定資産評価審査委員会委員の選任」については、次のとおり同意しました。

山鹿市鹿北町	野中弘樹
山鹿市鹿本町	由富順子
山鹿市中	本多隆文

〈人権擁護委員〉

市長から提出された「人権擁護委員の推薦」については、次のとおり同意しました。

山鹿市南島	有働真澄
山鹿市鹿本町	小川芳和



編集後記

広報広聴委員会

立山大二郎委員長

より開かれた議会の情報発信に向け、試行錯誤・切磋琢磨の2年間でした。

芋生よしや副委員長

表紙の写真も、市民のみならずとつながりたいと考え、議論し選定してきました。

豊田新一郎委員

議会情報を市民の皆様に分かりやすくお伝えすることの大切さを学ばせていただきました。

高橋龍一委員

親しみやすい紙面作りを目指してまいりました。議会を身近に感じていただけたら幸いです。

深牧大助委員

議会だよりの見せ方、伝え方などに苦労しました。ありがとうございました。

永田壮弘委員

分かりやすい、見やすい、親しみやすい議会だより作成に努めました。ありがとうございました。